

氏名	山岸直子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	慢性看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2007年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2018年首都大学東京大学院博士後期課程				
経歴	2008年慶應義塾大学看護医療学部助教、2013年東京医科大学医学部看護学科講師、 2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会 (役職)	日本看護科学学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本慢性看護学会、日本がん看護学会、日本看護学教育学会、日本リハビリテーション看護学会、保健医療福祉科学学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	独居の高齢糖尿病患者の運動療法の自己管理の取り組みと関連する要因	共著	あり		日本糖尿病教育・看護学会誌、27(2) 11-24	山岸直子, 勝野とわ子
2	「もしも」のときの医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	なし		Palliative Care Research、18(4) 213-223	山口 乃生子, 山岸直子, 會田 みゆき, 畔上 光代, 河村 ちひろ, 星野 純子, 浅川 泰宏, 佐瀬 恵理子, 島田 千穂
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	高齢糖尿病患者のセルフケア支援のための熟練看護師のアセスメント（第2報）	単独		第28回日本糖尿病教育・看護学会学術集会、岡山	○山岸直子	2023.9
2	Self-Management of Drug Therapy and Related Factors in Older Adult Patients with Diabetes Living Alone	共同		27th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS 2024) Conference、Hong Kong	○Naoko Yamagishi、Towako Katsuno	2024.3
3	多重課題場面における看護学生の視覚情報と思考の特徴－看護師との視線分析の比較－	共同		日本看護学教育学会 第33回学術集会、福岡	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2023.8
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（若手研究）			高齢糖尿病患者のセルフケア支援のためのアセスメントツールの開発	研究代表者	2019.4～2024.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			バーチャルリアリティ教材を活用した臨床推論力育成プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2023.3

3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	「もしも」の時の医療・ケアの話 し合い行動意図尺度を用いた家族参加型ACP研修の開発	研究分担者	2023.4～2026.3
---	------------------------------	---	-------	---------------

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅴ（慢性看護）	○	14	2年生を対象に、概論講義、看護過程演習のガイダンスや解説・グループワーク、慢性腎臓病患者の看護・退院支援の講義を行った。授業前後小テストやグループワークなどを組み合わせ主体的な学習を促した。
2	フィジカルアセスメント		5	修士課程1年生を対象に、身体診察と病歴聴取における実践の振り返り、対面での臨床推論シミュレーション演習を実施した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅴ（慢性看護）	○	4	2年生を対象に、臨床現場に近い状況設定での慢性病患者への看護技術、心不全患者の観察シミュレーション演習を運営し指導した。
2	臨床実践看護		7	4年生を対象に、輸液管理、陰部洗浄・オムツ交換の技術演習、突発事象への対応のシミュレーション演習を担当した。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2023.5～2023.6	3年生を対象に臨地実習を担当し手術室・HCUでの見学実習を行った。見学実習は半日と短時間のため実習前に目標を明確に事前学習を行ったうえで臨めるよう支援し意図的に学習できるようにした。
2	成人看護学実習Ⅱ		2023.5～2023.6	3年生を対象に1クール2週間の臨地実習を担当した。病態や治療、生活をふまえた対象理解、看護実践につなげるよう支援した。
3	総合実習		2023.7	4年生を対象に3週間の臨地実習を担当した。学習課題に合わせた患者選定ができるよう調整や課題を意識した実践を支援した。
4	IPW実習		2023.10	科目責任者会として実習運営（学生担当としてオリエンテーション、学生配置等）を担当した。最終日の発表会では、複数グループの学びの共有・討議を行えるよう運営した。補習実習を担当し、紙面事例を用い臨地に近い状況での学習設定の工夫やチーム活動が活発に行えるよう支援した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2023.12	主指導 3名	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護研究指導	東川口病院	病棟ごとに取り組む看護研究の指導	2023.4 ～2024.3
2	家族参加型アドバス・ケア・プランニング研修	埼玉県立大学 北本市	さいごまで自分らしく生きるための心づもり ～「もしも」の時に備えて～	2023.10
3	現職者向け多職種連携を学ぶ講座	埼玉県立大学	多職種チームによる実地実習（IPW実習）	2023.10
4	高校出張講座	埼玉県立坂戸 高等学校	看護職を志す高校生のための看護学入門	2023.11

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県看護協会	学会委員長（学会運営、査読）	2023.4～2025.3	
2	日本看護学教育学会	日本看護学教育学会誌 専任査読者	2021.4～2024.3	
3	日本看護協会	日本看護学会誌 査読委員	2022.9～2024.3	
4	日本看護協会	第54回日本看護学会学術集会 抄録選考委員	2023.4～2023.12	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	地域産学連携委員会 委員		2023.4～2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者会		2023.4～2027.3
3	学科等における委員会等	実習計画調整会 会員		2023.4～2024.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス（教員相談を担当）		2023.8
5	学生支援	卒業生に対する支援（進路・仕事上の相談）		2023.9～2023.12
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	優秀演題賞 発展部門（示説） 「多重課題場面における看護学生の視覚情報と思考の特徴－看護師との視線分析の比較－」、 會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	日本看護学教育学会 第33回学術集会		2023.8
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			